

生命歯学部カリキュラムマップ

第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
歯科基礎系科目						統合科目					
歯の解剖学		病理学		口腔衛生学		社会歯科学		総合歯科医学		総合科目①	
医の倫理		衛生・公衆衛生学		口腔保健学		総合基礎歯学		病院実習		総合科目②	
発生と再生		解剖学						臨床実習		総合科目③	
		歯科理工学								包括歯科医学①②	
		生化学									
		生理学									
		組織学									
		微生物学									
		薬理学									
		歯科法医学		生命歯学探究							
歯科臨床系科目											
スポーツ歯学		地域連携・在宅医療概論		歯科硬組織修復学							
臨床につなげる基礎学と教養				歯科放射線学							
				歯冠補綴学							
				歯科矯正学							
				小児歯科学							
				歯内療法学							
				歯周病学							
歯科教養系科目											
医学英語		歯学英語		口腔外科学		口腔内科学					
プロフェッショナリズム1		医学統計学		全部床義歯補綴学		歯科麻酔・救急処置					
病院医療概論		歯科医療概論		高齢者歯科学		部分床義歯補綴学					
		食育学		外科学		口腔インプラント学					
		社会福祉学		内科学		障害者歯科学					
コミュニケーション科目											
医療コミュニケーション学		コミュニケーション概論実習									
実習科目											
生命歯学概論		解剖学実習		歯科理工学実習		衛生学・口腔衛生学実習		歯科矯正学実習		口腔外科の基本手技実習	
口腔リハビリテーション多摩クリニック実習		歯の解剖学実習		組織学実習		歯科硬組織修復学実習		歯冠補綴学実習		歯周病学実習	
歯科医療情報学実習		生化学実習		微生物学実習		病理学実習		歯内療法学実習		統合臨床基礎学実習	
スポーツ・健康学実技		生命歯学探究実習		薬理学実習				小児歯科学実習		部分床義歯補綴学実習	
生物学実習		生理学実習						全部床義歯補綴学実習			
教養教育系科目											
化学											
基礎化学											
生物学											
基礎生物学											
国語表現											
心理学概論											
物理学											
学習法基本概論		行動科学									
人類学		法学									
数学											

本学の教育課程編成・実施の方針 (カリキュラムポリシー)

建学の精神である「自主独立」のもと、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)*に掲げる人材を育成するために、以下のとおりカリキュラムを編成しています。

- ディプロマポリシー達成のため、シラバスに全授業科目の到達目標、学習方略、評価方法を明記し、学習計画を提示します。
- 歯科医学と生命体との関連性を念頭にいた一貫教育を実施します。
- 初期教育として歯科医学生に必要な自然科学、人文・社会科学、語学教育、情報科学教育を行うとともに、医療人の基礎となるコミュニケーション能力、倫理観、プロフェッショナリズムに関する教育を実施します。
- 医療英語コミュニケーション学習や姉妹校への短期留学により、医療従事者としての国際感覚を醸成します。
- PBLテュートリアルにより、論理的思考に基づく問題解決能力、科学的探究心を養成します。
- 歯学教育モデル・コア・カリキュラムを基本とした基礎医学、臨床歯科医学に関する教育を実施するとともに、臨床能力の習得をめざし基礎と臨床を統合した教育を実施します。
- 診療参加型臨床実習の準備教育として、臨床実習前に臨床歯科学の講義による知識の習得のみならず、臨床基礎実習(シミュレーション実習)による技能・態度の習得を目指した教育、ならびに医療スタッフの一員として参加するに必要な社会歯科学の教育を実施します。
- 学生が医療スタッフとして参加し、その一員として診療業務を分担しながら、歯科医師としての知識・思考法・技能・態度の基本的な内容を学ぶため診療参加型臨床実習を実施します。
- 超高齢社会のニーズに対応できる歯科医師を目指して訪問歯科診療の臨床実習を実施します。
- 全身管理および他職種連携を常に念頭にいた臨床実習を実施します。
- 教育課程の進級審査において、シラバスに目標として掲げられた能力を適正に評価します。

*ディプロマポリシーはp11に掲載

臨床実習前の共用試験 CBT・OSCE

CBT(Computer Based Testing)は、診療参加型臨床実習に求められる「知識」についてコンピュータを用い、選択肢のうちから解答する多肢選択式問題等で構成された客観的試験です。OSCE(Objective Structured Clinical Examination)は、基本的な臨床能力の習得度を客観的に評価する試験であり、従来のペーパーテストや口頭試験では評価しにくい「技能」や「態度・習慣」を評価します。CBT・OSCEは4学年次に行われ、合格後5学年次の臨床実習に進むことになります。

Post-CC PX (診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験) CPX・CSX

5学年では、実際の臨床現場における学生のパフォーマンスを評価する臨床実地試験(CPX: Clinical Practice eXamination)と、複数の疾患を再現した統合型模型を用いて、学生が臨床実習で身につけた治療技術を評価する一斉技能試験(CSX: Clinical Skill eXamination)を受験します。